

内海地区漁場利用協定

締結の日が迫る

風光明美なオリーブの島と詠われる瀬戸内海小豆島は昔から鯛の豊かな漁場が広がっていました。ところが最近、異変が起きて鯛の漁獲が非常に減少している。このままでは釣りも出来ない海になると内海漁協・森組合長は警鐘を鳴らす。

STK会報

第6号

発行所
香川県善通寺市
金蔵寺町1298-1
TEL.0877-63-3121

2015/3/31

すでに十五年ほど前から小豆島の南部く東部方面では地元香川県は元より岡山県、兵庫県等からマダイ釣りの釣人がプレジャーボートで押し掛け海上は押し合い圧し合い状態になりました。漁師と釣人は漁場でトラブルになり怒鳴り声と共に石が飛んできたり挙句には刃物まで突き付けたりと熾烈な激突の日々が続き漁具の網やロープは夜の内に切られ何とか成

海がいざなう瀬戸内海

小豆島にプレジャー集結

プや網にひっかかって怪我をする危険な目に合うので何とかしたい。禁漁区域の設定は出来ないものか。遊漁者がルールを作り守ってもらい釣って帰るだけでなく漁業者と一緒に稚魚放流を

らないか・・・と苦悩の連続でした。三年前にやっと漁業者と遊漁者が話し合いの場持つことが出来ました。内海漁協から出された案は近年マダイの漁獲が減少したことから釣人が海苔網の内側までに入り釣をしたり建て網、マス網の側で釣りをしたりで釣道具がロー

してもらいたい。一部の漁業者からは「どうせ遊漁者が邪魔で漁が出来ないのなら思い切って禁漁区にしたらいいだろう」との話が出る始末。そんな事になったら釣り人は現在釣っている場所では釣りが出来なくなります。皆の海だからこそ皆でマナーを守らなければ成らないのではないか。組合側からは、せめて稚魚放流の協力漁業者も「皆の海やのに何で金を払わないかんのや」ではなく漁業者と共に稚魚放流に参加しルールを守りより良い漁場を作りたいたいものです。

漁業、遊漁の間で数度の協議を重ね「内海地区漁場利用協定協議会」を設立し漁業組合者と香川県、岡山県、兵庫県との遊漁者として役員を選出し漁場利用のルールを策定して来ました。

作今のマダイの漁獲量は大きく減少し漁業者、遊漁者共にマダイの結末を実感しています。

漁場利用協定の締結時期が計画より少し延びてしまいましたが六月に締結することと成りました。

漁場利用協定に参加して資金を出し合い遊漁者も漁業者と共に稚魚放流に参加して再び豊かな漁場を作らなければ成らない時期が来ていることを実感して協力をお願いしたいものです。一部の遊漁者からは「もし協議会に参加しな

いとどんな罰則が有るのか？罰則がないなら無理に協議会に参加して金なんか払わな

守る！のではなく自身のマナーを考えたものです。協議会に参加した方は参加していない人に漁業者と共に呼び掛け漁場を次世代に残し豊かな海を守りたいものです。

STK主催

善通寺市立竜川小学校児童

粟島周辺で稚魚放流

瀬戸内遊漁船釣り団体協議

よう。

会が第1回稚魚放流及び青少年育成の行事として小豆島内海漁業協同組合・森組合長と安田小学校の教頭先生、父兄生徒での稚魚放流した時のキジハタが40センチと大きく成りました。数匹を水槽で大切に観察をしながら育てました。海に放流したものはこれ以上に成長していることでし

昨年庄内半島の粟島漁業協同組合・浅野組合長と善通寺市竜川小学校・西吉校長先生と生徒によって放流が行われました。親子参加で数年後大きく成長することを願いながら放流体験をして頂きました。放流の後は浅野組合長の案内で元粟島海員学校跡の粟島資料館を見学しました。瀬

竜川小学校児童

作文

戸内遊漁船釣り団体協議会はこれからも放流を続けます。今回も放流に参加してくれた児童から作文が届きました。

竜川小学校四年 山地怜奈
十一月二十三日にもち漁放流に家族四人で参加しました。ち漁放流とは赤ちゃんの魚を海にかえして大きくなってもらうための放流です。船のスプードも速くて落ちそうでした。小さな船にのせてもらうのは、はじめてで、緊張しました。楽しかったのでまた放流をしたいです。今かい放流したたくさんの方の赤ちゃん魚が大きくなって私の口の中に何匹入るか楽しみです。



竜川小学校六年 山地優希
十一月二十三日には稚魚放流
という記事があり家族で出席
しました。最初に校長先生が
来てぼくや山田ゆうやくん、
よしのちゃんが来ました。
船に乗るとあわ島をめざして

走りました。あわ島につくと
ブイでできたネコやカエル、
タコやホタルが有りました。
その次に船のもけいがあるは
くぶつかんを見学しました。
その後近くの建物でうどんを
食べました。そして稚魚放流
に行き小さな魚を5、6か所
に放流しました。最後に海
にちらばったゴミを見た感想
は、何で人間は海とか川にゴ
ミを捨てるのだろうかと思いま
した。

竜川小学校五年 山田愛乃
四年生の時に父と兄と私で
稚魚放流に参加しました。船
に乗った時、校長先生も一緒
だったので緊張しましたが初
めての稚魚放流だったのでワ
クワクしました。魚を見た
とき「かわいいなー」と思っ
たのでお別れの時は悲しかっ



たです。でも魚たちに広い海
で元気に大きく成長してほし
かったのでできるだけそつと
放してあげました。

私の知らない島に着いた時
はドキドキして歩きました。
古い学校を見学したりおしい
いうどんを食べたりして楽し
い時間がすごせました。なか

でもいちばん心に残っている
のは古い学校に展示していた
細かい大きな船です。やさし
く教えてくれたのでうれしか
ったです。
機会があればまた参加した
いです。楽しい一日をありが
とうございました。

竜川小学校 中西琉衣

十一月二十三日に船に乗っ
て詫間町の栗島へ行きまし
た。船の上は寒くて波が強
く水しぶきがすごかったです。
栗島では組合長さんが海の博
物館で色々船の説明をして
くれました。栗島の組合長さ
んが「今度来る時はお魚も大
きく成長しているよ」と言っ
てくれました。

大きく成ったところ今度は釣
りに行きたいです。ありがと
うございました。



竜川小学校六年 山田祐弥
 ぼくが稚魚放流に参加した
 きっかけは学校でくぼられた
 手紙を読んでとてもおもしろ
 そうだったからです。ぼくは
 初めての稚魚放流だったので
 少しきんちようしたけれどと
 ても楽しく放流できました。
 船にはお父さんとぼくと妹
 と校長先生が乗りました。稚
 魚は全部で500匹以上いて

何回も放流しました。ぼくは
 その時「この稚魚が大きくな
 ったら見たいな」と思いまし
 た。大きく成長してほしいで
 す。放流の後はみんなでうど
 んを食べました。大人数で食
 べたうどんはおいしくてとて
 もいい思い出になりました。
 古い学校や昔の魚をとる道具
 も見学しました。初めて見た
 道具もあってワクワクしてい
 ました。稚魚放流はぼくにと

って、とてもいい経験になり
 ました。また、きかいがあれ
 ば参加したいと思いました。
 おせわしてくれた人に「あり
 がとうございました」と伝え
 たいです。
 ……………
 ※高橋丸・宮川丸・杉峰丸の
 船長さんには船の提供有難う
 ございました。また粟島浅野
 組合長・STKスタッフの方
 々お疲れさまでした。

STK

26年度下期事業報告

【八月】

- ★NPO法人として活動開始
- ★第一回理事会を岡山県の児
島で開催（内海地区漁場利用
協定の進捗状況報告）

【十一月】

- ★第二回目理事会を善通寺で
開催（STK杯タイラバトー
ナメントの成績審査。稚魚放
流について稚魚の搬送、備品
の手配。
- ★タイラバトーナメント順位
発表
- ★小豆島「内海地区漁場利用
協定協議会」出席
- ★本年度の第2回稚魚放流

『STK稚魚放流事業』を善
 通寺市立竜川小学校児童・父
 兄・校長先生・粟島漁業協同
 組合浅野組合長、STKスタ
 ッフで放流

★STKスタッフにより第三
 回稚魚放流を本島漁協・香川
 組合長の指示で本島へ放流。

【二十七年一月】

★高松で理事会。後STK新
 年会。

【二月】

★内海地区漁場利用協定協議
 会出席。

★高松海上保安部で「香川県
 地区小型船安全協会分会長会
 議」出席。高松海上保安部と
 小型船安全協会に「内海地区
 漁場利用協定協議会」につい
 て説明

【三月】

★理事会を岡山県児島で開催
 『STK会報作成、配布。』